



恩ニ小だより

<http://hachioji-school.ed.jp/ogt2e/>

令和7年(2025年)

12月25日

八王子市立恩方第二小学校

042-651-3700

第10号

伝統文化を感じ、新たな気持ちで新年を

校長 有賀 康美

2025年、令和7年の今年も早いもので、あと1週間で終わります。さてこの1年はどんな年だったでしょうか。主なできごととして、1月には埼玉県八潮市で道路が大きく陥没しトラックが巻き込まれる事故がありました。2月には米の値段が高騰し、政府が備蓄米を放出することを決め、米不足は徐々に解消されました。しかし様々な問題から今でも米の値段は高いままです。3月にはサッカー日本代表が8大会連続でワールドカップ出場を決めました。4月には10月までの予定で、大阪で関西万博が始まりました。キャラクターのミャクミャクが話題になりました。6月にはミスター・ジャイアンツと呼ばれた読売巨人軍終身名誉監督の長嶋茂雄さんが亡くなりました。また和歌山のアドベンチャーワールドのパンダ4頭が中国へ返還されました。来年1月には上野動物園のパンダも中国に返され、日本にパンダがいなくなります。7月には参議院選挙で野党が過半数の議席を獲得しました。8月には終戦から80年となりました。9月には各地でクマに襲われる被害が相次ぎました。八王子でもクマの出没が確認されました。また東京で世界陸上が開かれ、日本人は銅メダル2個を含む11種目で入賞しました。10月には自民党の高市早苗さんが女性初の総理大臣に選ばされました。またノーベル賞の生理学・医学賞に坂口志分さん、化学賞に北川進さんがそれぞれ選ばれ、日本人として10年ぶりに2人同時受賞となりました。11月には、野球のアメリカメジャーリーグで、大谷翔平選手、山本由伸選手、佐々木朗希選手が所属するロサンゼルス・ドジャースが3人の活躍もありワールドシリーズで優勝しました。また、聴覚障害者による国際スポーツ大会であるデフリンピックが東京で開かれ、日本人は金メダル16個、銀メダル12個、銅メダル23個を獲得しました。急に寒くなつたせいか平年より早くインフルエンザが大流行しました。八王子でも小中学校の学級閉鎖が相次ぎました。12月には従来の紙の健康保険証から、マイナンバーカードと一体化したマイナ保険証へ完全移行しました。また、毎年発表している新語・流行語の年間大賞に高市首相の「働いて働いて働いて働いてまいります」が選ばされました。青森県東方沖で大きな地震があり津波警報が出ましたが、幸い大きな被害はありませんでした。思い起こせばいろいろなことがあった1年でした。それぞれのご家庭でもこの1年、ご家庭なりの出来事があったのではないかと思います。

さて、そんな中で子どもたちは子どもたちなりに、この1年の出来事に感じたこと、思ったことがあったと思います。そこで終業式で子どもたちにこの1年を振り返り、新しい年を迎えるにあたって年末年始に行われる風習や伝統行事、さらに「一年の計は元旦にあり」ということわざの話をしました。ぜひ1月1日の朝、今年一年、こんなことをしよう、このことをがんばろうなど計画を立ててほしいと思います。そして来年は、それに向かって毎日努力する人になってほしいと思います。

私は、全校朝会で折に触れて日本の伝統文化や二十四節気の季節の話をします。(先日も冬至の話をしました)それは、自然豊かなこの日本で自然と共に生きてきた日本人としての伝統や文化を知り、大切にしてほしいからです。現代は、インターネットをはじめとしたグローバル化が進み、文化の国境がなくなる交流が進んでいます。また、今後、インバウンド(訪日外国人旅行)や就労で外国人が増え、異文化に接する機会が多くなっていきます。様々な国から訪れる外国人の異なる習慣や文化を理解し尊重するためには、まずは、自国の伝統や文化を理解し、尊重することが大切ではないでしょうか。しかし最近、残念ながら様々な理由で大晦日の「除夜の鐘」や長く続いてきた伝統的な「祭り」が中止になっていますが、日本で伝統的に続いている風習はそれぞれに意味があるものです。ご家庭で初詣や帰省などをするとおもいますが、それぞれのご家庭でも大切にされている年末年始の風習や日本の伝統的な文化に触れる機会があると思いますので、その意味をぜひお子さんに教えていただければと思います。

2学期は、普段の学習活動の積み重ねによる成長のほか、校外学習や体験学習で貴重な経験をたくさんしました。学校での様々な取組とその成果に対し、改めて保護者や地域の皆様のご支援やご協力に感謝いたします。明日からの13日間の冬休みは、少しゆっくり過ごせると思います。一家団らんの中でゆったりと新しい年を迎え、お子さんの2学期の成長ぶりをご家庭で振り返り、3学期への自信とさらなる成長につなげていただきたいと思います。

保護者や地域の皆様におかれましては、風邪やインフルエンザ等にも感染しないよう予防に万全を期し、どうかよい年を迎えられますよう心よりお祈り申し上げます。

～2学期の行事を振り返って パート2～

ヤマメの里親教室～発眼卵～

11月14日(金)の3校時にヤマメの里親教室の2回目がありました。1回目同様に恩方魚業組合、島しょ農林水産総合センター、奥多摩さかな養殖センターの方々をお招きして、ヤマメの卵についてのお話と育て方のお話を聞きました。お話を聞いた後は、担任の先生から容器をもらって、ヤマメの卵(発眼卵)を一人一人容器に入れてもらい、児童玄関のところにある冷蔵庫に入れました。

卵のお世話は、1週間に1回容器の水を替えることです。水替えをしながら、卵の様子を観察します。もし、孵化していたら、卵の殻を捨てます。現在、ほぼ孵化しているようです。冬休み前に子どもたちは、自分の容器の水替えと稚魚の観察をしました。冬休み中は、日直の先生が全員の容器の水替えをしてくださるそうです。

お話を聞いているところ



発眼卵を容器に入れてもらっているところ



児童玄関のところにある冷蔵庫



イングリッシュキャラバン

11月21日(金)、イングリッシュキャラバンが本校に一日中滞在し、中学年、高学年、1～3年生、4～6年生に分かれて、1時間ごとに英語に触っていました。会場では、アメリカ、フィリピン、ジャマイカ、インドの4か国に分かれ、各コーナーでいざつや食べ物、建物等を教えてもらいました。また、1～3年生は、外国の遊びを体験しました。

この日は、全校でどっぷり英語に浸り、英語を通してコミュニケーション能力を高め、学びを楽しんでいました。

最後は、全員でバス停までお見送りをしました。



中学年の授業の様子



高学年の授業の様子



↑ 中学年の授業の様子



バス停でのお見送りの様子



1～3年生の外国の遊び体験の様子

<子どもの交通事故防止対策>

八王子市教育委員会より、警視庁交通部長からの通達がありました。

それによりますと、「12月は年間で子どもの歩行者が死傷する事故の発生が最も多い月であることに加え、冬休み期間中は子どもの活動範囲が広範になり、重大交通事故の発生が懸念されます。」とありました。

そこで、本校では、終業式後の生活指導の話では、自転車ではヘルメットを着用し、薄暗くなったらライトを点灯する、ドライバーから見た歩行者の服の色の話や反射板の活用の話、お年玉を使うときはおうちの人と相談し、計画的に使う話がありました。

明日から13日間の冬休み。楽しい催し物がたくさんあると思いますが、くれぐれも交通事故には気を付け、1月8日の始業式には、元気な姿で登校してくることを願っています。

ご家庭でも、お子さんと一緒に右記の「3つのやくそく」の確認をお願いします。

**ふゆ休みを楽しむために
3つのやくそく**

- 道路上にとびださない**

友達が呼んでいても、
ボールが転がっても、
絶対に飛び出さない！
- 青信号でもゆだんしない**

右・左・右をよく見てから
横断歩道を渡る！
手を高く上げて渡る！
- 自転車のルールをまもる**

ヘルメットをかぶる！
周りが見えにくい場所や
'とまれ'の場所で止まる！

保護者の皆様へお願いです
～お子様が「ただいま」と言えるように～

幼児のお子様からは、目を離さないようにしましょう。
自転車・歩行者のルールを繰り返しお子様に教えてください。実際にお子様と出かけて、安全確認ができるかチェックしてあげましょう。
車で出かける際は、お子様の体格に合ったチャイルドシート・ジュニアシートを使用しましょう。

こうつうあんぜんじょうほう

街とともに。人とともに。
FOR MORE COMMUNICATION

けいしちょう

TOKYO SAFETY ACTION
<https://www.safetyaction.tokyo/>

